

西中だより

第7号

R7.9.26
一校長室から一



(3年生 奈良にて)

- 伊勢崎市英語スピーチコンテスト
市1位（県大会出場） 皆川アユメさん 
- 科学の甲子園ジュニア（国立研究開発法人 科学技術振興機構 次世代人材育成事業）
県準優勝（全国大会出場：兵庫県）石原佐和さん、井上煌稀くん、廣瀬圭吾くん
県奨励賞 小林英侍くん、高橋 司くん、湯本 蓮くん

祝

一律の課題をなくした夏休み

夏休みに一律の課題（ワーク、ポスター、作文、自由研究等）をなくし、自分で学習計画を作成（主に1・2年）して取り組んだ「学習チャレンジ」への保護者と生徒の声です。

【 保護者 】（ 回答43名 ： 対象1～3年生 ）

・お子さんは、「自分で課題を設定し、実行する力」が育まれたと思いますか？

非常にそう思う	4.7%	そう思う	39.5%
あまりそう思わない	44.2%	全くそう思わない	11.6%

- ▲中学生になって、初めての長期休みで今まで小学校でも夏休みの宿題があったので、本人も何をしたらいいのか分からない様子でした。
- ▲ポスターや自由研究などは任意でもいいと思いますが、5教科のワークや課題は義務で行なってほしいです。
- ▲課題が出されなかったことに戸惑いました。個人に考えさせることはとても大切だが、それを自分で考えられた子とそれができない子で差が生じてしまうのではないかと思います。自分で考えられない子は、休み期間中、親の懸命のサポートがないと逆効果。いきなり休み期間に入り、放り投げ出されたような気がします。
- ▲夏休み前半は、自分から取り組む姿勢がなかなか見られなかったです。週に1日でもいいので、学校で取り組む日を設けてもらえると助かるなと思います。宿題のワークくらいはあってもいいように感じました。
- ◎初めての試みで子どもも親も少し戸惑いがあったのは事実ですが、自分を見つめ課題を進めていくことは長期休暇だからできることだなと感じました。
- ◎受験生に関しては個人で目的にあった勉強を取り組みたいと思うので、課題等はなくていいと思います。
- ◎夏休み前に決めた計画に基づいて、学習チャレンジに取り組むことができました。提出する課題ではなく、目標に向かって努力する、人のために行動する、目に見えない課題が達成できたのではないかと思います。

【 生徒 】(回答68名 : 対象1～2年生)

・うまくいかなかったこと(▲)、うまくいったこと(◎)

- ▲計画倒れや継続性の課題
- ▲苦手教科や特定の課題への取り組みの遅れ
- ▲学習の質や効果の課題
- ◎自主的・計画的な学習に取り組めた
- ◎苦手教科の克服や基礎固めに集中できた
- ◎学習以外の活動にも意欲的に取り組めた

[分析]

多くの生徒は、夏休みという長い期間を有効活用し、自分なりに自律的な学習能力を高める機会とすることができたようでした。特に、計画性、継続性、苦手克服が行えたと回答した生徒の多くが無理のない学習計画を立て、達成させることにより発展的な取り組みにつながられていることでした。今後の指導のポイントは、生徒が克服したい課題をスモールステップで取り組めるよう計画させることが分かりました。

○ チャレンジウィーク頑張ってます！

9月24日(水)～26日(金)の三日間、2年生の職場体験(チャレンジウィーク)が行われました。境地区を中心に15事業所＝「職場」を体験することで実際に働く大人との関わりあい、視野を拡げ・深めていくことで学校では体験できない多くのことを学ぶことができました。



スーパー



小学校



飲食店

○ 学校公開について(スリッパ等持参し、校舎北側より入校願います)

日 時 10月10日(金)、24日(金) **文化祭** 11月13日(木)、27日(木) 9:00～15:30

目 的 コミュニティスクールの学校として、地域に開かれた学校の推進を図る。

生徒が学習する姿を地域の方に知っていただき、生徒を応援してもらう。

その他 当日は、公民館サークルの作品を展示しております。

(出品団体) 写団チングルマ、ビーズサークル、パッチワークひまわり

○ 弁当の日(10/24)について

- 「 ヒトは、食により人になる 」
- 「 心と体を豊かにする力を育てる 弁当の日 」
- 「 わが家、伝統、家族、絆 ― 弁当には詰め込まれています 」

『弁当づくりで身につく力 竹下和男 著 講談社 2012』

2019年から行われている弁当の日は今年もやってきます。
どうぞ、ご協力をお願いいたします。



(外谷 碧彩さんの作品)